

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称	
283	地域福祉推進事業	会計	01	一般会計		
		款	03	民生費		
基本施策	3	高齢者などを地域や集落で支える環境をつくる	項	01	社会福祉費	
			目	01	社会福祉総務費	
担当部課名	健康福祉部 高齢障害課		細目	108	地域福祉推進事業	
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	22-9657	細々目	01	地域福祉推進事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	高齢者や障がいのある人等で判断能力を失っている人	地域福祉権利擁護事業を利用することにより、地域で安心して暮らせるようになる。			
本年度事業内容	○地域福祉権利擁護事業の実施支援 地域福祉権利擁護事業の利用者の利用負担に対する補助を行った(支出先:伊賀市社会福祉協議会)。				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	健康福祉部関係補助金等交付要綱など

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	565	450	450
補助金	565	450	450
その他			
合計(A+B)	1,285	1,170	1,170
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,285	1,170	1,170
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
権利擁護利用者数	人	45	50	55			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
権利擁護事業利用者数	権利擁護事業の利用者数の増加により、本制度の状況を示す指標とする。	件	45 目標 (100)	50	55
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

旧上野市社会福祉協議会では、伊賀地域権利擁護センター事業に取り組んでおり、地域福祉権利擁護事業に取り組んでおり、合併後も引き続き取り組んでいる。

評価	必要性	4	地域福祉権利擁護事業を利用者の利用料を助成することは、必要である。	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		